



令和4年11月22日

臼尻漁港の臨港道路工事を報道機関に公開します

～安全で効率的な水産物輸送道路の整備～

函館開発建設部では、令和3年度より臼尻漁港と国道278号(尾札部道路)を結ぶ臨港道路(延長約1.1km)の整備を行っています。本年度は橋脚及び橋台の躯体工事を行っています。

つきましては、報道機関の皆様を対象に現場見学会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

- 日時 令和4年12月6日(火) 14:00～15:00予定
- 集合場所 臼尻漁港内 工事事務所(函館市南茅部町 別添資料参照)
- 予定行程 13:50～14:00 臼尻漁港内の工事事務所に集合、ヘルメット等貸し出し
14:00～14:05 工事現場へ移動
14:05～15:00 工事内容等説明、作業状況見学

<留意事項>

- 取材を希望される報道機関の方は、12月2日(金)15:00までに社名、氏名、連絡先を広報官(42-7702)へお知らせください。
- 悪天候により作業の中止が見込まれる場合は、説明会を延期又は中止させていただきます。なお、中止の場合、前日の5日(月)までに連絡します。
- 見学時には、貸与するヘルメットの着用をお願いします。
- マスク着用等の新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 函館港湾事務所

副所長 鈴木 泰弘 (0138)41-4156 (内線22)

第2工務課長 加藤 直樹 (0138)41-4156 (内線42)

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



別添資料

臼尻漁港臨港道路工事
集合場所及び見学場所



集合場所
(臼尻漁港内
工事事務所)

計画路線

徒歩で移動

見学箇所

臼尻漁港

尾札部道路
(国道278号)

臼尻小学校

至鹿部

道の駅
(縄文ロマン南かやべ)

臼尻霊園

今年度工事箇所

■ 臼尻漁港臨港道路事業概要

(現状と課題)

◇ 臼尻漁港で水揚げされた水産物は、唯一の幹線道路「国道278号(旧道)」を利用して輸送されていますが、当該国道は海岸線と崖地に挟まれ、密集する住宅地を通っていることから、道路幅員が非常に狭く、輸送の時間効率性や安全性に問題があります。

◇ また、大規模地震発生時には、津波の来襲により、漁港内及び周辺地域が最大6.0m浸水すると予想されており、津波来襲時に漁港内及びその周辺から速やかな避難を可能とする避難路の確保も必要です。

⇒ 漁港から尾札部道路に接続する臨港道路の整備により、水産物輸送の効率化、安全性向上を図るとともに、津波来襲時には地域住民の速やかな避難が可能となります。

臨港道路完成予想図

